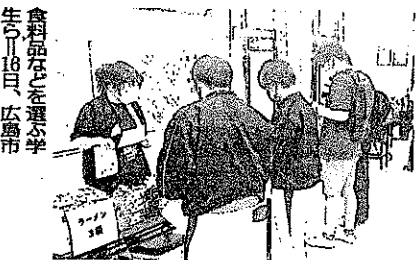


# 食料支援各地で

## 雨の中、長蛇の列 北海道

コロナ感染の急拡大が進む北海道に緊急事態宣言が発令された16日、小樽市で日本民主青年同盟委員会が呼びかけた学生食料支援が行われ約160人が訪れました。

小樽での食料支援は2回目。開始の1時間前から集まり始め、雨の中、会場の外まで続く学生や青年で長蛇の列に。2人の子どもを連れた母親の姿もありました。



前日も参加したという小樽商科大学の4年生は、「大学の周りでボスターが掲示されているのを見ました。前回も行った」と話した。

「前日も参加したという小樽商科大学の4年生は、「大学の周りでボスターが掲示されているのを見ました。前回も行った」と話した。

授業に切り替わってしまいましたが、せっかく交流を広げていこうと思ったのに、イベントが全部中止になってしまい、この状態がいつまで続くのか」と思い

を打ち明けた。アンケートには「来への不安が大きくなり、この先、生きていけるか心配」と切実な声があふれました。

## 「検査を拡大して」 京都

日本民主青年同盟や実行委員会が取り組む食料無償提供・生活相談会が16日、京都府城陽市、京都市西京区の

2カ所で行われ、合わせて90人が参加しました。

民曹西地区委員会と学生班が主催する西京

区の会場には、雨の中、京都市立芸術大学の学生や近隣の住民が訪れ、食料を受け取り、生活実態などを聞き、アンケートに答えました。

## 「生活苦しい」訴え 広島

コロナ禍で苦しむ学生たちを応援しようと

「緊急事態宣言が出たから、生活が苦しい」と訴え、2年の女子2人（美術学部）は、「コロナで大学が閉まったので、リモート授業だったり、実技ができないと、なんのために来ているのかと悩んでしまっている」と話した。

「緊急事態宣言が出たから、生活が苦しい」と訴え、2年の女子2人（美術学部）は、「コロナで大学が閉まったので、リモート授業だったり、実技ができないと、なんのために来ているのかと悩んでしまっている」と話した。

「緊急事態宣言が出たから、生活が苦しい」と訴え、2年の女子2人（美術学部）は、「コロナで大学が閉まったので、リモート授業だったり、実技ができないと、なんのために来ているのかと悩んでしまっている」と話した。

「緊急事態宣言が出たから、生活が苦しい」と訴え、2年の女子2人（美術学部）は、「コロナで大学が閉まったので、リモート授業だったり、実技ができないと、なんのために来ているのかと悩んでしまっている」と話した。

「緊急事態宣言が出たから、生活が苦しい」と訴え、2年の女子2人（美術学部）は、「コロナで大学が閉まったので、リモート授業だったり、実技ができないと、なんのために来ているのかと悩んでしまっている」と話した。